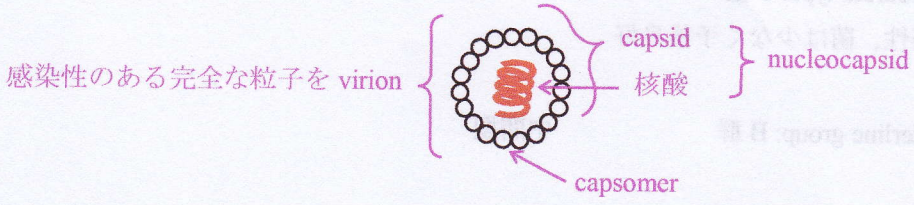
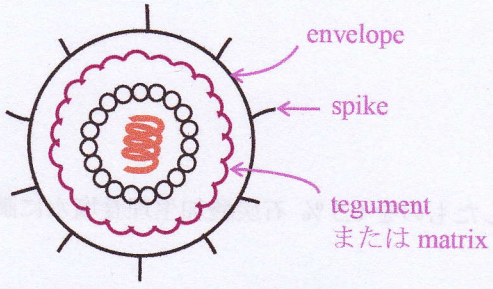
◇ ウイルス学総論 ◇

【ウイルスの特性】 特性であり定義ではない

1)[傷性細胞内寄生性]
2)[DNAかRNAのどちらか一方を持つ]
3)[2分裂の増殖をしない]
4)[外被タンパク質(capsid)を持つ]
5)[濾過性病原体。20～300nm]





3個のヌクレオチド（トリプレット）〔分子量約1000〕が1個のアミノ酸（分子量100）に対応するので、ウイルス核酸は1/10の分子量のタンパクしか作れないことになる。ウイルス粒子は約25％の核酸と50～90％のタンパクを保持するが、これを説明するためには、同一タンパクを数多く作って、それらがサブユニット構造を取り、粒子を形成すれば可能となる。

サブユニットは相互に等価な位置関係を取ると最も安定であり、そのためにはサブユニットは対称構造を取る。立方対称もしくは、らせん対称を取ることが推定された。